

令和8年度 第1回 平塚市図書館協議会 次第

日時：令和8年5月27日（水）14時30分から16時
場所：平塚市中央図書館 3階ホール

1 会長あいさつ

2 議題

(1) 平塚市図書館の概要について

ア 平塚市図書館の概要、利用状況…………… (資料1)

イ 平塚市図書館の重点目標、事業計画…………… (資料2)

ウ 平塚市図書館費歳入歳出予算の概要…………… (資料3)

(2) 「これからの平塚市図書館運営のあり方」【改訂版】素案…………… (資料4)

(資料5)

3 その他

(1) 今後の開催スケジュール（予定）…………… (資料6)

【配付資料】

資料1 平塚市図書館の概要、利用状況

資料2 平塚市図書館の重点目標、事業計画

資料3 平塚市図書館費歳入歳出予算の概要

資料4 「これからの平塚市図書館運営のあり方」【改訂版】素案

資料5 「これからの平塚市図書館運営のあり方（概要）」【改訂版】素案

資料6 今後の開催スケジュール（予定）

平塚市図書館協議会委員名簿

令和7年8月1日から令和9年7月31日

	氏名	分野	推薦母体	就任	備考
1	蛸名 今日子	学校教育関係者	平塚市立小学校長会	1期	新任
2	宮田 篤	学校教育関係者	平塚市立中学校長会	1期	新任
3	森谷 芳浩	社会教育関係者	神奈川県立図書館	3期	継続
4	小林 浩代	家庭教育の向上に資する活動を行う者	平塚市子ども読書活動ネットワーク運営委員会	1期	新任
5	西田 洋平	学識経験者	東海大学	2期	継続
6	林 秀樹	学識経験者	公募委員	1期	新任

≪平塚市図書館協議会事務局≫ (平塚市教育委員会)

所属・職	氏名
社会教育部長	石川 亜貴子
中央図書館長	藤田 忠義
中央図書館 管理担当長	熱田 敏男
中央図書館 奉仕担当長	西海 豊
中央図書館 管理担当 主管	関山 弘明
中央図書館 管理担当 主査	渡邊 知也

(1) 平塚市図書館の概要について

資料 1

ア 平塚市図書館の概要、利用状況

(令和8年(2026年)3月31日時点)

館名	中央図書館	移動図書館 (令和8年(2026年)3月終了)	ひらつか 駅の図書室
外観			
所在地	平塚市浅間町12番41号	平塚市浅間町12番41号	平塚市宝町1-1 ラスカ平塚6階
開館年月	昭和45年(1970年)4月	昭和57年(1982年)4月	令和7年(2025年)3月
市職員数	18名(中央図書館長、管理担当6名、奉仕担当11名、会計年度任用職員3名)	—	—
運営形態	直営 窓口委託：株式会社ヴィアックス	直営	窓口委託：株式会社ヴィアックス
蔵書数	273,623冊	32,195冊	4,545冊
施設及び蔵書特徴	<p>中央図書館は平塚市の中心となる図書館です。平塚市図書館全体の企画・運営・計画事業や、来館できない人へのサービス(移動図書館あおぞら号、出前図書館、ハンディキャップサービスなど)、レファレンス(調べもの支援)、子ども読書活動推進計画事業、蔵書管理、図書館システム管理などを行い、窓口やイベント業務の一部を外部委託しています。</p> <p>なお、令和8年度から実施の改修工事では、設備等の機能回復と耐震改修を行います。</p>	<p>マイクロバスを改造して書架を積んだ移動図書館車「あおぞら号」は、約2,000冊を積載して、図書館から距離のある地域にある7か所のサービスステーションを2週間に1回のペースで巡回していました。</p> <p>なお、令和7年度から令和8年度にかけて、移動図書館サービスは段階的に廃止し、サービスステーションに代わり、一部の地区公民館で予約図書受取サービスを開始しています。</p>	<p>南図書館の改修工事に伴い、代替施設として、令和7年3月11日からラスカ6階に「ひらつか 駅の図書室」を設置しています。</p> <p>本施設では、予約図書資料の貸出や返却、利用登録及び変更ができ、キッズスペース、自習席も用意しています。</p> <p>なお、利用状況等を踏まえ、南図書館が再開する令和8年7月以降も、ラスカ平塚6階に継続して設置します。</p>
登録者数	39,374人	4,004人	335人
年間来館者数	282,383人	—	125,801人
貸出者数	155,143人	2,798人	55,230人
貸出点数	561,744点	12,176点	127,470点

(地区図書館)

館名	北図書館	西図書館	南図書館 (改修工事で休館中)
外観			
所在地	平塚市田村三丁目12番5号	平塚市山下3丁目29番1号	平塚市袖ヶ浜20番1号
開館年月	平成3年(1991年)5月	平成5年(1993年)5月	平成8年(1996年)5月
運営形態	指定管理者制度：株式会社ヴィアックス		
施設形態	複合 1階 神田公民館 2階 北図書館	単独 1階(児童書) 2階(一般書)	複合 なぎさふれあいセンター 3階 ※福祉会館等に併設
蔵書数	87,241冊	117,674冊	94,367冊
施設及び蔵書特徴	<p>北図書館は、神田公民館2階にある図書館です。公民館や地域とのつながりを特に大切にしながら運営を行っています。</p> <p>神田公民館との共催イベントの開催や、放課後児童クラブへ図書館スタッフが訪問しておはなし会、写真や絵手紙など地域で活動するサークルに協力いただいている作品展示等の取組をしています。</p>	<p>西図書館は、周辺に学校や公民館、公園などがあり、住宅地内に立地する図書館単独の施設です。地域の方や近隣の施設などとの連携を大切に考えて運営しています。</p> <p>視聴覚室では、映画会やおはなし会、地域の方との企画などを実施し、イベント等のない時は臨時学習室として開放しています。入口や視聴覚室前の展示にも工夫を凝らしています。</p>	<p>南図書館は、複合施設「なぎさふれあいセンター」3階にある汐の香り漂う図書館です。海の近くにあることから、海や船に関する本を集めた「海の本」コーナーがあります。</p> <p>現在、なぎさふれあいセンターの大規模改修に合わせて、南図書館も改修により、令和7年2月16日から令和8年6月1日(予定)まで休館しています。</p> <p>改修後は、多世代交流を促すcommonsスペース(2階)や読書バリアフリーエリア(3階)の新設、絵本コーナー(3階)の拡大等を予定しています。</p>
登録者数	6,373人	9,544人	9,153人
年間来館者数	81,144人	117,686人	0人
貸出者数	35,780人	62,257人	0人
貸出点数	136,874点	237,585点	0点

イ 平塚市図書館の重点目標、事業計画

1 重点目標

市民等が主体的に学ぶ機会の提供と活動支援を、地域の人材や様々な団体との連携によって推し進めることにより、生涯学習活動及び地域活動の更なる充実を目指します。

(1) 市民の暮らしに役立つ図書館づくり

中央図書館改修に伴う休館中の代替施設であり、平塚駅周辺に新たな賑わいを創出するため、中央図書館分館を令和8年12月に開設します。

(2) 施設の計画的な改修

個別施設計画に基づき、中央図書館（令和6年度事業者選定、令和7年度設計、令和8年度から令和9年度工事、供用開始）、南図書館（令和6年度設計、令和7年度工事、令和8年度供用開始）の大規模改修を進めます。

(3) 「これからの平塚市図書館運営のあり方」の推進

これまでの取り組み等を踏まえ、令和9年度改訂に向けて必要な見直しを行います。

(4) 子ども読書活動の推進

子ども読書活動推進計画（第5次）に基づき、関連団体等と協力して各事業を推進します。

(5) デジタル技術を活用したサービスの推進（電子図書館の普及）

電子図書館の利用促進を図るとともに、学校等と連携した効果的な活用の機会を図ります。

(6) ブックスタートの推進

実施率の向上を図るため、ボランティアとの協働や関係課との連携とともに、効果的な事業の実施を図ります。

(7) アウトリーチサービスの刷新

小型移動図書館車の導入によるオンデマンド型アウトリーチサービスの充実を図ります。

(8) 業務の見直し

業務の見直しを通じて簡素化や合理化を進めます。

2 主な事業計画

(1) 運営関連事業

	事業名	実施	事業概要
1	図書館協議会	年3回	図書館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、図書館の行う図書館奉仕につき、館長に対して意見を述べる機関。協議会委員の任期は2年間で、令和7年8月1日から令和9年7月31日までとなります。
2	中央図書館 窓口等業務委託	令和2年度～ (令和5年度 更新)	中央図書館の窓口等業務委託(株式会社ヴィアックス)は令和5年度に更新しています。県内・市外図書館との連絡調整やシステム作業に関する業務、選書や除籍に係る業務、また、イベントに係る業務(一日図書館員、市民の図書館体験、中高生ボランティアなど)を担当しています。 窓口等業務を委託することで、市職員の業務負担が軽減され、政策的業務の推進、レファレンスサービスやイベント事業の充実などにつながっています。
3	地区図書館 指定管理者制度開始	令和4年度～	地区図書館である、北・西・南図書館は、指定管理者制度(株式会社ヴィアックス)を導入しています。 指定管理者制度も、現在5年目を迎え、モニタリング(第三次評価)も実施されました。本市の求める施設の運営管理水準も満たされ、誰でも気軽に利用できる雰囲気づくり、限られた施設の有効活用などが評価されています。 指定管理者制度開始以降での変更点は以下のとおりです。 ・開館時間を午後5時から午後6時までで延長 ・月末館内整理日は開館 ・市内小中学校の夏休み期間中の月曜日は休まず開館

(2) 計画

	事業名称	事業概要
1	「これからの平塚市 図書館運営のあり方」 (2021～2030年度) (令和3年度から令和12年度)	中央図書館、地区図書館及びおよび移動図書館がどうあるべきかについての方向性をまとめた、「これからの平塚市図書館運営のあり方」を2021年3月に策定しました。このあり方は、「誰もがいきいきと学べ、自慢できる『お役立ち図書館』」を基本理念として、今後の目指すべき図書館像を実現していくために、図書館法及び「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」の基本的運営方針としています。
2	平塚市総合計画～ひらつかVISION～ (2024～2031年度) (令和6年度から令和13年度)	「平塚市総合計画～ひらつかVISION～」は、2070年までの人口推移を意識した上で、高齢者数がピークを迎える2040年頃の人口構造が社会経済環境に与える影響を踏まえるとともに、市制施行100周年を展望して、2031年度までの8年間の新たな計画として策定しました。

	事業名称	事業概要
3	第3期平塚市教育振興基本計画～奏プラン3～ (2025～2027年度) (令和7年度から令和9年度)	本市教育の充実を図るために定める基本的な計画として、現在の平塚市教育振興基本計画に続く、「第3期平塚市教育振興基本計画～奏プラン3～」を策定しました。本計画は、これまでの成果と課題を検証するとともに、平塚市教育大綱で定めた基本理念「未来の礎を築く教育のまち 平塚」を道しるべとし、国の教育振興基本計画のコンセプトである「持続可能な社会の創り手の育成」、「ウェルビーイングの向上」を参酌し、3つの基本方針を柱として、10の施策を着実に推進していきます。
4	平塚市子ども読書活動推進計画（第5次） (2025～2029年度) (令和7年度から令和11年度)	子どもの自主的な読書活動を推進するため、子どもを取り巻く読書環境の変化、第4次計画の取組の課題や国・県の計画等を踏まえ、「平塚市子ども読書活動推進計画（第5次）」を策定しました。第5次計画では、すべての子どもに楽しく本とふれあう機会を届けるために、子どもの読書に関わる様々な人が協力し、つながっていくまちづくりへの思いを、基本理念としています。 2つの基本方針「子どもが読書に親しむための環境をつくる」「子どもが読書に親しむことをみんなで支える」を掲げ、3つの施策「家庭における子どもの読書活動の推進」「地域における子どもの読書活動の推進」「学校等における子どもの読書活動の推進」を柱として、39の具体的な取組を進めます。また、子どもの読書活動を一層推進するため、3つの重点取組「多様な子どもたちの読書機会の確保」「デジタル社会に対応した読書環境の整備」「子どもの視点に立った読書活動の推進」を設定しています。
5	平塚市図書館サービス方針 (平成30年度から)	平塚市図書館は2018年12月に平塚市図書館サービス方針を策定しました。「誰もがいきいきと学べ、自慢できる『お役立ち図書館』」をキャッチフレーズとし、8つの目標を掲げサービスに取り組んでいます。策定にあたっては「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」「平塚市教育振興基本計画（奏プラン）」「平塚市シティプロモーション指針」をもとに案を作成し、図書館協議会の審議や東海大学司書課程の授業でいただいた意見を反映しました。

(3) 広報関連事業

	事業名	実施日	事業概要
1	平塚市図書館年報 「らぼーる」	年1回	年に1回発行する図書館の報告書。図書館の歴史や統計情報、1年間の事業内容などをまとめています。
2	平塚市図書館情報誌 「きいふ」	年2回	図書館の情報をお知らせしています。また、平塚市の歴史を資料で紹介しています。
3	図書館だより 「こどもきいふ」	年1回	毎年4月23日のこども読書の日を記念して発行しているこどもむけの図書館だよりになります。
4	広報ひらつか	月1回 (第1金曜日号)	展示やイベントについて紹介しています。
5	図書館ホームページ、 X、LINE	随時	展示やイベントについて紹介しています。

(4) 全館サービス

	事業名称	事業概要
1	赤ちゃんタイム	乳幼児を連れて保護者の方が気兼ねなく図書館を利用できるよう、赤ちゃんおはなし会等を行う際に、「赤ちゃんタイム」を設けます。「赤ちゃんが泣いたり、大きな声を出したりしてしまっても温かく見守りましょう」と来館者への協力を呼び掛けます。
2	電子図書館事業 令和3年7月7日～	令和3年7月7日から導入した電子図書館は、令和7年3月31日現在蔵書数12,473冊となっています。(著作権が消滅した作品を集めた青空文庫等を含む) なお、児童書読み放題パックの利用開始と小・中学校タブレット端末との連携により、閲覧数が大幅に増えています。 対象：市内在住、在勤、在学で図書館カードをお持ちの方 貸出点数：1人3点まで 貸出期間：2週間（返却期限を過ぎると自動的に返却されます）
3	デジタルアーカイブ事業 令和3年7月7日～	情報提供サービスの一環として、図書館が所蔵する平塚市に関連する資料をデジタル化し、図書館ホームページで公開しています。
4	国立国会図書館デジタル化資料送信サービス（中央図書館）	国立国会図書館で提供しているデジタル化資料の閲覧ができます（中央図書館 参考室）。
5	「ひらつかしとしょかん ほんのもり」の設置	令和5年4月28日（金）にグランドオープンした THE OUTLETS SHONAN HIRATSUKA（ジ アウトレット湘南平塚）と連携して、2階 FOOD FOREST 内のキッズスペースに子ども向けの図書コーナーを設置しています。
6	返却ポストの設置	図書館以外でも次の施設で、貸出手続きを受けた本を返却することができます。 ・ひらつか 駅の図書室 ・平塚駅東改札口返却ポスト ・金目公民館 ・金田公民館（大規模改修工事のため、令和7年12月1日から令和9年3月（予定）まで封鎖） ・吉沢公民館 ・城島公民館 ・土屋公民館 ・大神公民館 ・岡崎公民館 ・松が丘公民館 ・THE OUTLETS SHONAN HIRATSUKA（ジアウトレット湘南平塚）

(5) 中央図書館事業

	事業名称	事業概要
1	ブックスタート 対象：1歳未満	図書館を会場に、市民ボランティアと図書館職員が、赤ちゃんへの読み聞かせの方法などをお話ししながら、絵本の入ったブックスタートパックをプレゼントします。「赤ちゃんとお絵本を楽しむ時間の大切さ」を伝えながら絵本を手渡すことにより、絵本を通して豊かな子どもの心を育て、親子の絆を養うきっかけづくりとなることを目的に実施します。
2	赤ちゃんおはなし会 対象：0～3歳児	図書館ボランティアの力をお借りし、0～3歳のお子さんを対象に赤ちゃんとお絵本の読み聞かせ、おうちでもできる手遊び・わらべうたなどをご紹介します（全館月1回実施）。
3	おはなし会 対象：3・4歳児中心	図書館ボランティアの力をお借りし、3・4歳のお子さんから楽しめる絵本や紙芝居の読み聞かせ、工作などを行います。 中央図書館：月3回 地区図書館：月2回
4	みんなのおはなし会 0歳～小学生、家族	0歳から小学生のお子さんとその家族を対象に絵本や紙芝居の読み聞かせ等を行います。神奈川県「ファミリー読書の日（毎月第1日曜日）」に家族で参加できるおはなし会を実施し、平日に図書館に来ることができない共働き世帯やお父さんなども含め、家族みんなで参加していただけることを目指します。
5	子ども読書活動推進プロジェクト	中央図書館を中心に関係課（教育総務課・教育指導課・教育研究所・中央公民館）と協働し、子どもの読書活動の推進を目的に、「実践型イベント」及び「家庭向け講演会」等、幅広い内容のプログラムを組み実施します。
6	子ども読書活動推進事業	各中学校区子ども読書活動推進協議会を中心に、家庭・地域・学校・行政が連携し、全市的な読書活動を推進します。 直接的、間接的に子ども達が本に関心をもつための取り組みを進めていくため、図書室整備や朝読書、読み聞かせ、地域行事への参加、図書館見学など地域の特性に合わせた形で、事業を実施しています。
7	子ども読書活動ネットワーク事業	各中学校区子ども読書活動推進協議会の連携・共有・支えあいを図るため、読書ネット通信「LINK」の発行（年2回）、七夕市民飾りの参加（七夕飾り制作と掲揚）、各種事業の企画・運営など実施し、ボランティア同士や協議会間の交流、情報交換の場づくりのために活動しています。

ウ 平塚市図書館費歳入歳出予算の概要

資料3

1 概要

平塚市の図書館は「誰もがいきいきと学べ、自慢できるお役立ち図書館」の実現を目指し、中央図書館及び地区図書館を拠点として図書館サービスを展開しています。

令和8年度は、中央図書館の改修工事を実施するとともに、利便性向上のため駅前の商業施設内に中央図書館分館を新設し、新たなサービス拠点を構築します。また、改修後の南図書館においては、指定管理者制度による効率的な管理運営を導入します。

2 特徴的な取組

- ・出前図書館等の対応範囲を拡充するため、小型の移動図書館車に更新します。
- ・中央図書館分館を駅前の商業施設内に開設します。
- ・電子図書館のサービス拡充、利用促進のため、電子雑誌を導入します。
- ・なぎさふれあいセンター改修工事後に再開する南図書館の管理運営を指定管理者により行います。
- ・中央図書館改修工事を実施します。また、事務所及び図書資料や什器等の一時移転を行います。

3 当初予算(令和8年度)

歳入

(単位：千円)

事業名		事業概要／主な歳入項目	R8 予算	R7 予算	当初予算の増減
1	行政財産使用料	【1次経費】電話柱・電柱・支線の目的外使用料、自動販売機設置の目的外使用料【2次経費】電話柱・電柱・支柱の目的外使用料（青少年会館）	31	99	△ 68
		主な増減事由 平塚市立学校教職員互助会の西棟の目的外使用料の終了による減			
2	図書館施設使用料	【1次経費】ホール使用料、特別研究室使用料	2	3	△ 1
3	広告掲載料	【1次経費】ホームページ掲示板掲載料	9	9	0
4	自動販売機設置許可に係る管理料	【1次経費】自動販売機設置許可に係る管理料	322	1,083	△ 761
		主な増減事由 中央図書館の休館に伴う設置月数の減少による減			
5	その他雑入	【1次経費】図書館複写サービス収入、西図書館公衆電話料【2次経費】駐車場有料化に伴う電気料、中央図書館自動販売機設置に伴う電気使用料	314	466	△ 152
		主な増減事由 平塚市立学校教職員互助会の西棟の目的外使用料の終了による減			
総計			678	1,660	△ 982

歳出

(単位：千円)

事業名		事業概要／主な支出項目	R8 予算	R7 予算	当初予算の増減
1	子ども読書活動推進事業	各中学校区子ども読書活動推進協議会を中心に、家庭・地域・学校・行政が連携し、全市的な読書活動を推進します。 【主な支出項目】 講師謝礼、消耗品費、子ども読書活動推進協議会運営等委託料等	1,065	1,065	0
2	ブックスタート事業	地域のすべての赤ちゃんと保護者に「赤ちゃん絵本を楽しむ時間の大切さ」を伝えながら、絵本を直接手渡します。 【主な支出項目】 会計年度任用職員報酬、講師等謝礼、配布用絵本等購入費、フォローアップ対象要絵本購入費等	2,494	2,221	273
		<p style="text-align: center;">主な増減事由</p> 賃金上昇による増			
3	図書館アウトリーチサービス事業	いつでもどこでも手軽に利用できる電子図書館の充実を図るとともに、保育所、福祉施設等へ資料の貸出を行います。 【主な支出項目】 消耗品費、電子図書館月額利用料、電子図書館書籍関連賃借料、その他備品購入費	5,685	5,858	△ 173
		<p style="text-align: center;">主な増減事由</p> 移動図書館用図書の減			
4	図書館協議会事業	図書館の運営及び奉仕について協議するため、図書館協議会を開催します。 【主な支出項目】 図書館協議会委員報酬	104	138	△ 34
		<p style="text-align: center;">主な増減事由</p> 委員報酬の減			

(単位：千円)

事業名		事業概要／主な支出項目	R8 予算	R7 予算	当初予算の増減
5	中央図書館業務事業	生涯学習支援のため、図書館資料の収集、整理・貸出、レファレンス・サービス、資料展示、市民向け講座などの事業を実施します。 【主な支出項目】 市民向け講座講師謝礼、消耗品費、印刷製本費、窓口業務等業務委託料、OA機器保守委託料、図書資料配送費用、図書館システム機器等賃借料、図書資料購入費、負担金等	115,808	132,977	△ 17,169
		主な増減事由			
		休館によるデータベース使用料の減			
6	視聴覚ライブラリー運営事業	生涯学習支援のため、学校や社会教育団体等への視聴覚資料・機材の貸出を行います。 【主な支出項目】 ボランティア謝礼、消耗品費、備品購入費等	7	93	△ 86
		主な増減事由			
		備品購入費による減			
7	中央図書館管理事業 (改修工事)	中央図書館の大規模改修工事を実施します。【主な支出項目】 工事請負費、工事監理委託費	903,760	0	903,760
		主な増減事由			
		中央図書館改修工事の実施にともなう、工事費及び工事監理委託費の増			
8	中央図書館管理事業	中央図書館（本館・分館）の良好な運営や、施設の維持管理等を行います。 【主な支出項目】 消耗品費、燃料費、光熱水費、施設修繕料、通信運搬費、手数料、保険料、警備及び建物管理委託料、各種機械設備保守業務委託料、改修事業管理支援業務委託料、図書資料等移転業務委託料等	134,441	233,824	△ 99,383
		主な増減事由			
		中央図書館改修設計業務委託分終了による減、中央図書館休館による燃料費及び光熱水費の減			
9	地区図書館管理運営事業	北図書館、西図書館及び南図書館の蔵書管理、貸出、レファレンス・サービス、各種事業等の運営及び維持管理を指定管理者に委託します。 【主な支出項目】 消耗品費、光熱水費、施設修繕料、保険料、指定管理委託料、民間施設賃借料、図書資料購入費等	165,730	146,803	18,927
		主な増減事由			
		南図書館指定管理開始のための増			

総計 1,329,094 522,979 806,115